

平成28年度

第2回 八代市地域づくり会議 会議録

平成29年2月2日作成

八代市地域づくり会議会長 徳田 武治 

(署名又は記名押印)

第2回 八代市地域づくり会議 会議録

開催日時	平成29年1月28日(土) 午前10時00分～午前11時55分
開催場所	八代市役所仮設庁舎東棟21号会議室
出席委員	井山 さおり、大林 凌、荻 直美、奥村 英子、木村 博幸、 桑原 淳司、作田 大輔、猿渡 光次、椎葉 広子、寺田 公子、 徳田 武治、後村 新一、松本 啓佑、水上 順子、三好 陽子、 山方 信介 以上16名
欠席委員	岩崎 布見子、上田 貴久、上原 陽子、大倉 誠、黒木 亮太、 坂本 桃子、白石 秀寛、白石 安記、園田 悦子、高尾 昇二、 塚本 佳代、深田 剛大、山本 衣図穂、吉井 一利 以上14名
市関係者	(企画振興部) 部長 福永 知規、次長 丸山 平之、政策調整審議員 稲本 俊一 (各支所) 坂本支所地域振興課 主任 島田 紘輔 千丁支所地域振興課 参事 松永 美由紀 鏡支所地域振興課 主査 上村 昌也 東陽支所地域振興課 係長 岩田 剛 泉支所地域振興課 係長 川部 幸博 (企画政策課) 課長 野々口 正治、副主幹兼係長 秋田 大助、主査 篠原 秀和、 主任 塚本 潤、主任 松永 智秋
その他出席者	なし
公開の状況	公開
傍聴	一般傍聴者：なし 報道機関：なし
議事	市町村合併の検証について

■議事録

1 開会

2 挨拶

福永企画振興部長

徳田会長

3 議事

(司会)

これから議事に入りますが、本日は30名の委員の中で16名のご出席となり、委員の半数以上のご出席を得ておりますので、八代市地域づくり会議設置要綱第6条第2項により、本日の会議が成立しますことを報告いたします。

また、八代市地域づくり会議運営要領第2条において、「会議の議長は、会長が務めるものとする。」と規定してありますので、これから先の進行は、会長にお願いいたします。

(会長)

それでは、規定により議長を務めさせていただきます。審議がスムーズに進みますよう、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

本日の会議の形式については、前回に引き続き、グループ協議を予定しております。議事に入る前に、グループ協議の方法について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

3議題について、各15分のグループ協議後、発表を各グループ5分程度でお願いします。

・グループ協議 45分

(1)「合併の効果について」 15分

(2)「課題と今後の対応について」 15分

(3)「報告書について」 15分

・発表 各グループ 5分

(会長)

ただいま事務局から説明がありましたが、確認いたしますと、グループ協議を1項目15分間、計3項目45分間で行い、最後にグループごとに取りまとめ結果を発表、という流れで進めますので、よろしく申し上げます。

それでは、「市町村合併の検証について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

・資料1「市町村合併検証報告書(素案)」を基に各項目を説明

(会長)

ただいま、事務局から、「市町村合併の検証について」、説明がありました。
この件について、ご質問はありませんでしょうか。

(委員)

報告書素案は、白黒で配られていますが、最終版はカラーで発行されますか。

(事務局)

カラーでの作成を考えています。

(委員)

P19簡易水道の普及率について、計画区域内における人口減少に伴い普及率が低下したとの記載がありますが、人口が減少すれば普及率は上がるのではないのでしょうか。

(事務局)

例えば、計画区域内人口が3人で給水人口が2人とした場合、普及率は約66%となります。ここから、計画区域内で給水人口が1人減少したとき、計画区域内人口2人、給水人口1人となり、普及率は50%に低下します。

(会長)

他にご質問がないようでしたら、ただいまから、グループ協議に入ります。

まず、議題1の「合併の効果」について、グループごとに個人意見の発表と取りまとめを行ってください。

15分後の10時50分までよろしくお願いします。

～グループ協議①「合併の効果について」～

(事務局)

15分が経過しましたので、議題2の「課題と今後の対応」に移ってください。

15分後の11時5分までよろしくお願いします。

～グループ協議②「課題と今後の対応について」～

(事務局)

15分が経過しましたので、議題3の「報告書について」に移ってください。

この後、グループごとに発表していただきますので、発表者も決めておかれてください。

15分後の11時20分までよろしくお願いします。

～グループ協議③「報告書について」～

(事務局)

時間となりましたので、グループごとの発表に移ります。

1 グループ5分を目処に、主な意見について発表ください。

～グループ意見発表～ ※各グループの発表内容は、別紙のとおり

(会長)

ありがとうございました。

それぞれのグループから意見を発表していただきましたので、事務局においては、発表された意見を反映させて、手続きを進めていただきたいと思います。

(会長)

それでは、「その他」ということで、事務局から何かございませんか。

(事務局)

委員の皆さんにおかれましては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

頂戴したご意見は、報告書に反映させていただき、第3回会議において、報告書の最終案としてお示ししたいと考えております。

第3回会議の開催日時でございますが、3月25日(土)10時からの開催を予定しております。

委員の皆様には改めてお知らせいたしますので、ご出席よろしくお願いいたします。

(会長)

それでは、委員の皆さまから、本日の会議全体を通して、ご意見等ございましたら、お伺いします。

(委員)

グループ発表の際に、議員の定数・報酬の問題について意見がありましたが、現在、議会では議会改革特別委員会が設置され、定数を含めた議会改革の議論が行われておりますが、議員の報酬については、八代市特別職報酬等審議会で審議されるものであり、議員の皆さんが自ら決められるものではないと認識しています。

八代市の議員定数は現在32名ですが、全国平均では26名であり、議員の皆さんの良識ある判断で30名弱には減らしていただきたいと思います。

また、12月議会においては、NPO法人(指定管理者)関係等3件が否決になっており、体育協会が苦慮されておられます。そのようなことについても、私どもも注視していかなければならないと考えています。

(委員)

本日は、委員30名中16名の出席ということで、辛うじて会議が成立しています。土曜日だから少ないのか等検討いただきたいと思います。日程の決め方にも考える余地があるのではないかと思います。

(委員)

次回3月25日も土曜日ですので、できれば金曜日に開催してもらえればと思います。

(委員)

平日が参加しやすいかどうかという問題もあります。

また、この会議に参加される方は、地域の役員をされている方も多いため、イベントや行事等で日曜日は出席が難しくなりますので、そのあたりも考えて日程を設定いただきたいと思います。

(事務局)

働いてらっしゃる方が参加しやすいようにということで、平日の開催は控え、土曜日・日曜日で進めているところではありますが、開催日時については、改めて検討させていただきます。

(会長)

その他ご意見がなければ、以上で議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

会議の進行を事務局にお返しします。

4 閉会

(司会)

長時間にわたり、ご協議いただきましてありがとうございました。また、議長の徳田会長におかれましては、丁寧な議事進行ありがとうございました。

以上をもちまして、第2回八代市地域づくり会議を終了させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、公私ともにご多忙の中、ご出席いただき、貴重なご意見を賜りましたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。今後とも市の施策に対するご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(1)合併の効果について

グループ	意見
A	費用、人件費が削減された。また、指定管理者制度が進んで市職員の負担が軽減されるなど、行政改革が進んだ。
A	合併補助金、合併特例債の制度が有効活用されている。
A	一部で施設利用料金等が安くなった。
B	評価を感じない(40%以上)が評価するを上回っている。
B	東陽、泉、坂本は人口が減少しているが、財政的に多いところが補っているのか。
B	職員数が削減されたことは評価できる。
B	中心部への投資が増え、中山間地は減っているように感じる。
B	情報配信が多様化(市報、タウン誌、イベント情報、ケーブルテレビ)し、情報が市全域に届いている。
C	アンケート結果に子育て支援が良くなったとの回答があるが、子育て世代でないため、どのような点がよくなったのか分からない。
C	地域交通の再編により、合併まで公共交通がなかった所に、乗合タクシー等が運行されるように
C	泉では小中一貫教育が実施されており、教職員の交流等が行われるなど教育環境が良くなった。
C	伝統文化の保存に対する支援が行われるようになった。
C	選挙の期日前投票や窓口サービスが本庁や各支所どこでも受けられること。
D	子育て支援がよくなった。特に医療費の無料化や学童クラブが始まった。
D	市役所、支所どこでも住民票が取れたり、書類が提出できること。
D	八代、千丁、鏡どの図書館でも本が返却できる。
D	市職員の減少で人件費が減った。基金が増加し、市債が減っている。

(2)課題及び今後の対応について

グループ	意見
A	議員報酬について、市議会で、定数を減らす代わりに報酬を増やすなどの議論があっているが、報酬については第三者機関で決定すべきである。
A	一部で、合併しなかった場合どうなったのか考えずに、合併を否定する方がいるため、合併効果の啓発活動が必要ではないか。
A	アーケードでのイベントなど市民に行き渡っていない。広報は、インターネットが主になっているが、市報誌などで広くPRしてはどうか。
A	若い人が留まるような改革
A	核になる大学、会社の誘致(畜産関係など)
B	観光業、漁業、農業のブランド化、活性化(体験型)
B	自然(海、山、川、田畑)を活かした産業の創出。就業機会の提案。
B	老年人口増に伴う福祉の充実(特に中山間部)
B	アーケードを活用したまちづくり(福祉分野への活用など)
B	住民自治による地域づくり支援
B	中山間地での農業が難しい(後継者不足など)。
C	子育て世帯に対する配慮(下水道料算定において子どもも1人に数えられていることなど)
C	国民健康保険税を安くすることに取り組む。
C	人口減少を抑えるための戦略の具体策
C	合併前より市道等の災害復旧が遅くなっている。
C	市街地から山村部まで全てにおいて住みやすい環境づくりに努めてほしい。
D	路線バス、乗合タクシーの利便性(わかりやすくしてほしい。利用しないところは無くなるので、ますます不便になる。)
D	伝統芸能を残していく取り組み
D	人口減少対策として、高校や大学を作る。

(3) 報告書について

グループ	意見
A	数字が多く、一般市民には分かりにくい。資料版、市民普及版に分けて作成してはどうか。
A	P38の公共的団体一覧は必要ないのではないか。名称等が現状とあっていないものがあり、廃止・統合など主なものだけ掲載してはどうか。
B	P3年齢別人口のところ、世代ごとに減少率のグラフを追加してほしい。
B	空いているところにイラストを入れてほしい(学校や観光名所など内容に応じたもの)。
B	高校卒業後の人の動き(地域ごとに何%位が八代に残っているのか)をピックアップしてもよいのではないか。
B	P19の簡易水道の説明が不十分である。
B	P29市債では、1人当たりの借金を記載してほしい。
C	P4、54が文字が小さいので、A3折込にしたらどうか。
C	P8・9のグラフの説明を入れてほしい。
D	P19水道について、人口減少に伴い、普及率が低下することを詳しく説明してほしい。
D	アンケートの数字を大きくしてほしい。見づらい。
D	グラフだけのところは一つ一つ説明がほしい。グラフだけあっても分からない。